

1. はじめに

本州西部、四国、九州に囲まれた日本最大の内海である瀬戸内海では、瀬戸内の島々に展示された様々なアート作品の鑑賞を楽しむ国際イベントである瀬戸内国際芸術祭が3年に一度開催されています。このイベントでは、島から島への往来が増加し、現状は主にフェリーと海上タクシーが利用されています。このうち、海上タクシーは、好きな時刻や航路で利用できるメリットがある一方、フェリーより割高で予約手続きが難しいなどの問題点があります。そこで私たちは、島の往来に利用する海上タクシーをより使いやすくするために「seahorse」を提案します。

2. 提供する機能

乗船客は、出発・到着港や時刻、相乗りの可否などの情報をアプリに入力すると、運航のあるルートが表示されその中から好きなルートを選択できます(図1)。その後相乗り等について、システムが調整を行い、予約が確定すると、利用者に通知されます。

図1 予約画面のイメージ

船長は事前に運航可能な日にちや時間などの情報を登録しておきます。そして、船長の条件に沿った乗船客の希望が一覧に表示されます。その一覧の中から希望の航路を選択することで、運航予約が確定されます。

3. システム概要

乗船客は、「seahorse」の登録画面から希望する航路、時刻、相乗りの可否を登録します。「seahorse」は集約された予約データから、相乗りや迂回の情報統合し、船長に対して航路の提案を行います。船長は、希望する航路を選択するだけで予約が確定し、その通知が利用者に送信されます。

「seahorse」が航路を提案する際には、単に相乗り可能な予約を統合するだけではなく、船舶に取り付けられたIoTデバイスからの情報(船舶の位置情報・航行速度等)も参考にし、AIによって、最適な航路・船長を導き出します。

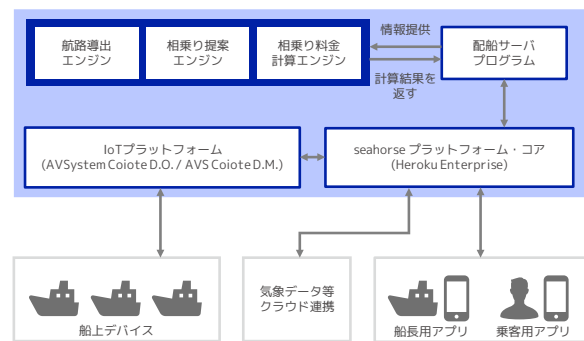


図2 システムの構成

4. おわりに

「seahorse」を利用することで、瀬戸内国際芸術祭を行う島々を、より効率的にめぐることができます。従来の電話予約では難しかった多言語対応もアプリ化することで導入でき、瀬戸内国際芸術祭が更に国際的にも有名になることを私たちは期待しています。

「seahorse」を皮切りにIoTやAIを導入した新しい海上タクシーシステムを地元、全国そして世界へと広めていきます。

